

下村東京オリンピック・パラリンピック担当大臣による  
内閣オリパラ室への訓示式

議事概要

1. 日時：平成25年10月11日(金) 16:20～16:30

2. 場所：文部科学省11階省議室

3. 出席者：

下村 博文 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

櫻田 義孝 文部科学副大臣

富岡 勉 文部科学大臣政務官

《2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室》

平田 竹男 室長（内閣官房参与）

久保 公人 室長代理（文部科学省スポーツ・青少年局長）

黒田 篤郎 室長代理（内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補室付））

永山 賀久 副室長（文部科学省大臣官房審議官（スポーツ・青少年局担当））

蒲原 基道 副室長（厚生労働省社会・援護局傷害保健福祉部長） 他室員全員

4. 議事要旨

下村大臣より、「大会開催がオリンピック・パラリンピックの歴史を変えるような価値を持ったものとするとともに、被災地の完全な復興や成熟国家としての課題を先頭に立って解決するなど、東京だけでなく日本全体が元気になることを、内閣オリパラ室がオールジャパン体制の要となり、先頭に立って頑張ってもらいたい」旨の訓示があった。